

[都市整備]課 経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

No.	事務事業名	様式 区分	H23 年度計画額（単位：千円）		H23 年度必要人工	
			H23 年度計画額	内特定財源	職 員	臨時職員
1	都市計画推進事業	B	1,413	130	0.8	0.2
2	街路整備事業	A	12,168	1	0.6	0.1
3	土地区画整理事業	A	0	0	0.2	0
4	国土調査事業	B	4,436	1,861	0.9	0.1
5	住環境整備事業	A	9,297	6,666	0.3	0.1
6	緑化推進事業	B	317	0	0.2	0
7	公園維持管理事業	B	38,689	50	0.3	0
7-1	公園整備事業	A	64,699	44,550	0.3	0
8	開発・建築事務事業	B	0	0	0.2	0.1
9	公共下水道運営事業	B	7,260	0	0.4	0.1
10	公共下水道維持管理事業	B	212,403	212,403	0.9	0.2
11	公共下水道整備事業	A	616,075	270,243	1.4	0
12	農業集落家庭排水運営事業	B	20	0	0.1	0
13	農業集落家庭排水施設管理事業	B	15,019	12,119	0.4	0.1
合 計			981,796	548,023	7.0	1.0

■特記事項

--

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	1
事務事業名	都市計画推進事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	<p>都市計画基礎調査は、都市計画法第6条で都道府県がおおむね5年ごとに国土交通省令第5条（基礎調査の項目）に従い実施することを定められており、また、法13条（都市計画基準）、法21条（都市計画変更）において、都市計画の策定とその実施を適切に遂行するための重要な調査です。</p> <p>このことから愛知県の都市計画基礎調査要綱（策定中）に基づき本町における都市計画行政の基礎的なデータ整備を目的とする。</p>		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基礎調査 ・都市計画審議会 ・その他都市計画推進に関する業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基本図修正業務 （次回平成27年度予定） ・都市計画マスタープラン （次回平成41、42年度予定） 	
現在における課題	今年度策定予定の「都市計画マスタープラン」の実現に向けての施策等について		
平成23年度に向けた改善策等	愛知県の都市計画基礎調査要綱（策定中）に基づき本町における都市計画行政の基礎的なデータ整備を実施する。		

■作業工程（平成 23 年度）

月	作 業 内 容
～ 3	都市計画基礎調査業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査区 ・ 人口の将来見通し ・ ゾーン別人口 ・ 年齢・性別人口 ・ 人口の自然増加及び社会増加

□ 3 年間の目標

目 標						
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□ 2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	
H 2 5	

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	735	20,641	1,413
(内特定財源)		千円	103	136	130
人工	職員	人工		1.7	0.8
	臨時職員	人工		0.4	0.2
	計	人工		2.1	1.0

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
03	8	都市計画マスタープラン策定委員	0 (▲124)	事業完了のため
	13	都市計画マスタープラン策定業務委託料	0 (▲6,284)	事業完了のため
		都市計画基本図修正業務委託料	0 (▲13,535)	事業完了のため
		3級基準点移設委託料	357 (357)	基準点の移設が必要なため
合 計			357 (▲19,586)	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
都市計画基礎調査委託金	50	
図面、用紙等売払収入	80	
合 計	130	

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

都市計画法第6条に基づき、都市計画の策定とその実施を適正に遂行するために、都市の現状及び動向等について調査を行い、都市計画行政の基礎的なデータ整備を目的として、「人口規模」の調査を行った。

■評価

人口・世帯規模や人口・世帯の増減の状況を小ゾーン単位で把握し、市街化動向を分析する基礎資料を整えることができた。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	2
事務事業名	街路整備事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	<p>国道41号や国道155号（北尾張中央道）といった広域幹線道路へのアクセスを強化し、集落内の通過交通を排除し、町内の円滑な道路交通ネットワークを実現するために都市計画道路愛岐南北線や小口線、江南大口線の整備を推進します。</p> <p>また、住民や本町への通勤者・来訪者の移動の利便性を高めるため、公共交通の充実に努めます。</p>		
業務内容	・都市計画道路小口線並びに役場前線等に関する道路整備に係る事業		
現在における課題	<p>都市計画道路小口線並びに役場前線については、平成13年5月15日に都市計画変更がされ、現在の未整備区間が、小口線＝918m（県道小口岩倉線～大口桃花台線）、役場前線＝276m（役場以東～小口線との交差点）あります。この路線の早期供用に向け、整備手法並びに財源計画を検討する必要があると考えます。</p> <p>また、この路線の早期整備に向け、五条川右岸（県道小口岩倉～樋田橋間（501m））を先行して着手して行きたい。</p>		
平成23年度に向けた改善策等	地元説明会を早期に実施し、地元地権者等への理解を図り、関係機関との調整を実施する。		

■作業工程（平成 23 年度）

月	作 業 内 容
	H 2 2 . . . 小口線及び役場前線の線形決定 県道小口岩倉線～町道柏森大口線間（L = 8 3 0 m）の公安協議 H 2 3 . . . 地元説明会並びに丈量測量図の作成

□ 3 年間の目標

目 標	・この道路の必要性を地権者等にご理解していただき、事業に係る用地についての同意を得る。					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□ 2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	・道路用地の確保
H 2 5	・道路用地の確保

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	3,032	200	12,168
(内特定財源)		千円	0	1	1
人工	職員	人工		0.6	0.6
	臨時職員	人工		0.1	0.1
	計	人工		0.7	0.7

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
03	13	町道小口線丈量測量業務委託料	11,918 (11,918)	新規事業化による
合 計			11,918 (11,918)	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
行政財産目的外使用料	1	
合 計	1	

■特記事項

総事業費として、554,000千円を見込む。

■改善策等に対する取組内容

都市計画道路小口線及び役場前線に係る整備方針の確認を行い、平成23年10月28日に、町道小口線及び役場前線に係る用地測量説明会を実施し、12月15日・16日には、地元地権者の方々と用地測量に伴う境界立会を行いました。また、日程調整のつかなかった地権者との境界立会を順次進め、整備計画に必要な用地の把握に努めている。

■評価

町道小口線及び役場前線整備に係る必要な用地を把握することができた。今後は、地元地権者等の方々に対し、この道路整備に係ることについて、更なる理解を図り、関係機関との調整を実施する。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	3
事務事業名	土地区画整理事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	整備が必要とされる市街地においてその一定の区域内で、土地所有者などからその所有土地などの面積や位置などに応じて、少しずつ土地を提供してもらい道路、公園などの公共施設用地などに充て、これを整備することにより土地の利用価値を高め、健全な市街地の造成を図り、公共の福祉の増進に資することを目的とする。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地区画整理事業に関する業務 ・ ・ 		
現在における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、土地区画整理事業の目途が立っていない。 		
平成 23 年度 に向けた改 善策等			

■作業工程（平成 23 年度）

月	作 業 内 容

□3 年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H 2 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	0	0	0
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工		0.4	0.2
	臨時職員	人工		0.1	0
	計	人工		0.5	0.2

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
合 計				

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
合 計		

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

■評価

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課		No.	(4)
事務事業名	国土調査事業			
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する	
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保	
事業目的	<p>・地籍調査を行うことで、町民及び公共の財産の保全並びに土地に関する基礎資料を整え、土地の明確化を図ります。</p> <p>・「地籍調査」とは国土調査法に基づき一筆毎の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地積に関する測量を行い、その結果を地図及び簿冊に作成し、作成された「地籍図」と「地籍簿」の写しを登記所に送付し、登記所において地籍簿を基に土地登記簿が書き改められ、地籍図が不動産登記法第14条第1項の地図として備え付けられることにより、町民及び公共の財産の保全はもとより、土地に関する基礎資料を整えます。</p>			
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地籍調査事業（城屋敷一丁目地区） ・ ・ ・地籍調査事業（替地一丁目、替地二丁目、替地三丁目、豊田三丁目地区） 			
現在における課題	<p>城屋敷一丁目地区の字区域及び名称地番の変更に向け、早急に境界確認を行い、地籍簿、地籍図の閲覧を実施し、地籍調査の成果としての認証を得て、新たな名称地番と共に登記所に成果を提出し、当該地区の平成23年度内完了を目指す。</p>			
平成23年度に向けた改善策等	<p>替地・豊田(雉子野・狭間)地区においては、平成22年度内に閲覧を終了し、認証時期の調整を行う予定である。</p> <p>また、城屋敷一丁目（城屋敷・山中他）地区については、平成22年度内に一筆毎の土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界等についての調査を終える予定であり、23年度については、認証に向けて、時期の内部調整を早めに行なうことで事業をスムーズに完了したい。</p>			

■作業工程（平成 23 年度）

月	作 業 内 容
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 替地・豊田地区
2011	
07	: 認証
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 城屋敷一丁目地区
2011	
04～08	: 地籍測量（F・G工程）、地籍簿（案）作成（H工程）
09～10	: 公告・閲覧・修正
11	: 認証

□3年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 替地・豊田地区並びに城屋敷一丁目地区の事業完了により、町内未調査地区については、中小口一丁目、中小口二丁目地区を残すのみである。 しかしながら、この地区については、現在、土地の有効利用についての要望が地元から根強くあり、地元で調整をしている状況である。 このことから、地籍調査事業については、一時休止となります。 					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	
H25	

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	9,238	7,894	4,436
(内特定財源)		千円	0	2,551	1,861
人工	職員	人工		0.5	0.9
	臨時職員	人工		0.1	0.1
	計	人工		0.6	1.0

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
04	13	国土調査事務等委託料	4,400 (▲3,150)	調査内容の差異による
合 計			4,400 (▲3,150)	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
土木関係証明手数料	1	
地籍調査事業費等補助金 (国費)	1,240	1 / 2
地籍調査事業費等補助金 (県費)	620	1 / 4
合 計	1,861	

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

替地・豊田(雉子野・狭間)地区においては、地籍簿(案)についての閲覧を、関係者に対し、平成22年12月に行ない、細部修正を平成23年2月に完了することができ、事業の完了につきましては、平成23年9月20日に認証を受けました。

また、21年度から着手した城屋敷(城屋敷・山中他)地区については、地籍細部測量及び測定を実施し、地籍簿(案)についての閲覧を、関係者に対し、平成24年3月に実施した。

■評価

替地・豊田(雉子野・狭間)地区においては、事業を完了させることができたため、不動産の取引だけでなく、土地に関するさまざまな行政分野と連携し、成果の利活用が期待される。

また、城屋敷(城屋敷・山中他)地区については、23年度内完了を迎えることはできませんでしたが、今後は、細部修正を行ない、早期、認証に向け調整を行う。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	5
事務事業名	住環境整備事業		
総合計画 の体系	大分類	3	健康で安心な暮らしと災害や犯罪などに強い社会を創造する
	小分類	(1) (2)	誰もが自立した生活が送れるよう健康長寿・障害現役社会の構築 災害に強い地域社会の形成
事業目的	<p>健康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉の家賃で賃貸することにより、町民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。</p> <p>東海・東南海地震などの発生が予測されるなか、地震による建築物の倒壊等の被害から住民の生命、身体及び財産を保護するため、旧基準（昭和56年5月31日以前）で建築された木造住宅の耐震改修の促進を行うことで、地震に対する安全性の向上を図り、災害に強い地域社会の形成を目的とする。</p>		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町営住宅維持管理業務 ・ 屋外広告物の新規・更新等の許可業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間木造住宅耐震改修促進業務 	
現在における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町営住宅入居者並びに周辺住民への安全・安心を確保するため、住宅の維持管理に努めながら、植松住宅等の耐用年数の関係から平成29年度までには、今後の運営方針を検討しなければならない。 ・ 平成22年度に緊急雇用対策事業の臨時職員により、耐震化促進についての「ローラ一作戦」を展開したため、耐震診断件数が飛躍的に増加した。今後については、耐震診断から耐震化への促進にどのように誘導できるかが重要となる。 		
平成23年度に向けた改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「大口町耐震改修促進計画」に基づき、平成27年度末に耐震化率90パーセントを目指し、耐震改修化についてのPRを実施する。また、既計画についての進捗状況及び目標設定等についての見直しを行う。 		

■作業工程（平成 23 年度）

月	作業内容
～ 3	「大口町耐震改修促進計画」の見直し作業

□3年間の目標

目 標	「大口町耐震改修促進計画」の見直しすることで、新たな目標設定を行う。					
項目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	「大口町耐震改修促進計画」の見直しにより、新たな目標設定に向けた計画を行う。
H 2 5	「大口町耐震改修促進計画」の見直しにより、新たな目標設定に向けた計画を行う。

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	6,825	5,386	9,297
(内特定財源)		千円	6,239	4,373	6,666
人工	職員	人工		0.4	0.3
	臨時職員	人工		0.1	0.1
	計	人工		0.5	0.4

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
03	8	民間木造住宅耐震診断委託料	2,700 (1,350)	耐震化促進活動を行ったことから、耐震診断申込件数が増加したため
	13	耐震改修促進計画後期実施計画策定業務委託料	2,562 (2,562)	新規事業による
合計			5,262 (3,912)	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
行政財産目的外使用料	15	
町営住宅使用料	2,220	7,588千円のうち
住宅・建築物安全ストック形成事業費補助金	1,350	国費 (耐震診断)
住宅・建築物安全ストック形成事業費補助金	1,281	国費 (後期計画策定)
愛知県住宅・建築物安全ストック形成事業費補助金	675	県費 (耐震診断)
愛知県住宅・建築物安全ストック形成事業費補助金	1,125	県費 (耐震改修)
合計	6,666	

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

これまで、平成19年度に策定された「大口町耐震改修促進計画」に基づき、平成27年度末に耐震化率90パーセントを目指し、耐震改修化を進めて参りましたが、中間年である平成23年度に本計画の問題及び課題を明らかにした上で、目標年次等の見直しを行い「大口町耐震改修促進計画（改訂版）」を策定しました。また、この計画の中で、耐震化進捗状況の確認をするとともに、目標達成に向けての方策を取りまとめました。

■評価

大口町の方針として「大口町耐震改修促進計画（改訂版）」を策定しました。今後については、本耐震改修促進計画に基づき、目標の達成（平成32年度末に耐震化率95パーセント）を目指すとともに、愛知県と協力して対象住宅の無料耐震診断を実施するとともに、国の補助制度である「住宅・建築物耐震改修事業」や、愛知県の補助制度である「木造住宅耐震診断補助事業と住宅耐震改修補助事業」を活用しながら、大口町耐震改修促進計画の実現に向けて、事業を引き続き実施していく。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	6
事務事業名	緑化推進事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する。
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	緑豊かな生活環境を確保するために環境保全、保護を行う。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保全緑地、保存樹木を健全に保全するよう交付金を交付 ・ 建築をした人に緑化木を交付する。 ・ みどりの少年団の育成補助 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	
現在における課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒートアイランド現象対策における、住民の緑化意識が少ないように思える。 		
平成 23 年度 に向けた改善策等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあいまつり等、苗木を配布し緑化意識を高めてもらう。 		

■作業工程（平成 23 年度）

月	作 業 内 容
7 10 1 2	建築した人に緑化木交付通知発送 保全地区、保存樹木の確認および交付金の交付

□3 年間の目標

目 標	.					
	.					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	. .
H 2 5	. .

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	315	317	317
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工		0.4	0.2
	臨時職員	人工		0	0
	計	人工		0.4	0.2

■平成 23 年度 計画額の主な増減 (前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
合 計				

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
合 計		

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

ふれあいまつりにおいては、苗木配布は、町民が喜ばれる樹種を選定するよう努めた。

■評価

・ふれあいまつりにおいて、苗木配布、約270本は樹種を厳選し、配布は順調だった。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	都市整備課	No.	(7)
事務事業名	公園維持管理事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	住民の憩いの場所として、清潔な公園をめざす。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化した施設の修繕 ・ 草刈り、樹木の維持管理 ・ 遊具の安全点検 ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・ 	
現在における課題	樹木がかなりの成長をみせ、毎年こまめな剪定が必要になってきている。 遊具の安全確保の為、適正な安全点検が必要になってきている。		
平成 23 年度 に向けた改 善策等	樹木の剪定計画をたてる。 遊具の専門業者による安全点検の委託。		

■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
5	樹木消毒、除草作業、低木剪定、遊具保守点検、
7	
10	
11	

□3年間の目標

目 標	.						
	項目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	.
H25	.

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	37,798	34,844	38,689
(内特定財源)		千円	60	60	50
人工	職員	人工		0.4	0.3
	臨時職員	人工		0	0
	計	人工		0.4	0.3

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
	1 1	修繕料	3,245 (1,245)	堀尾跡公園、水景施設ろ材入れ替え、漏水修繕
	1 3	公園維持管理委託料	14,396 (132)	堀尾跡公園、余野中央公園を 3 年計画を立てて剪定する。
	1 5	堀尾跡公園裁断橋改修工事	3,001 (3,001)	裁断橋の表面を研磨し防腐剤を塗布し、滑らかにする必要がある。
	1 5	さつきヶ丘児童広場水道設置	298 (298)	さつきヶ丘児童広場において地区の夏祭り等、行事の時に水道が必要である。
	1 5	二ツ屋公園遊具撤去工事	150 (150)	危険な遊具は撤去する。
合 計			21,090 (4,826)	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
行政財産目的外使用料	50	
合 計	50	

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

住宅地における公園を優先的に剪定し、道路交通、公園利用者に支障にならないように心がけた。

遊具に関しては、老朽化した遊具は、撤去し、修繕が必要と思われるものについては、優先順位をつけて、修繕した。

■評価

・公園は、地域の活動（グランドゴルフ同好会、夏まつり等）の場になっており、地域の自主的な清掃、草刈り等も行われ、愛着をもって利用されているので、さらに利用者との協働を図る。

・遊具については、修繕か更新かの判断をして計画をたてていく。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	都市整備課	No.	(7-1)
事務事業名	公園整備事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する。
	小分類	(3)	自然と共生した地域づくり、良好な生活環境の確保。
事業目的	住民のニーズに応え、新しい地域社会づくりを確保するため、公園を整備する。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余野1号公園の整備 ・ その他公園の整備補助 ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	
現在における課題	余野1号公園については、平成8年より、区画整理により公園用地が確保されているが、近隣に住宅が少なく公園整備を見合わせていた。		
平成23年度に向けた改善策等	近隣に住宅が増え、より良い住環境を目指す為、余野1号公園の整備をする。		

■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
6	余野1号公園地元説明会
8	余野1号公園工事発注
3	余野1号公園一部工事完了

□3年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・余野1号公園について、平成23年、24年の2箇年計画により整備する。 ・ 					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標
建築施設組立設置工 電気設備整備工 園路広場整備工				20,000		
植栽工 遊戯施設設備工					18,000	

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽工、遊戯施設設備工を行う。 ・
H25	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	0	0	64,699
(内特定財源)		千円	0	0	44,550
人工	職員	人工		0	0.3
	臨時職員	人工		0	0
	計	人工		0	0.3

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
4	11	消耗品費	20(20)	余野特定区画整理事業により、公園用地としてあみだした土地を公園として整備する。 秋田字西郷前地内の公園用地購入するため。
	15	余野 1 号公園整備工事費	20,000 (20,000)	
	17	公園用地購入費	39,600 (39,600)	
	19	給水負担金	79(79)	
		補助金	5,000 (5,000)	秋田字東郷前地内の広場整備補助するため。
合 計			64,699 (64,699)	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位:千円)

特定財源名称	金額	備考
県支出金	4,950	
明日のまちづくり基金繰入金	39,600	
合 計	44,550	

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

・余野1号公園については、深夜の利用者のモラルを懸念して、整備について反対の意見が、強かった。何度も交渉にあたったが、理解を求めることができなかつたため整備を中止した。

■評価

・今後、余野1号公園、予定地をどのように活用していくべきか、付近住民とともに検討する。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	8
事務事業名	開発・建築事務事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	秩序ある町の発展を期するため、関係法令に定めるものもほか、住宅地等の開発について一定基準を定めた大口町宅地開発等に関する指導要綱などに基づき良好な生活環境の整備を図るための事務手続き等を行う。		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開発・建築に係る相談窓口であり下記申請等の受付事務処理を行う。 ・ 大口町宅地開発等に関する指導要綱に基づく指導 ・ 建築確認申請の受付 ・ 建築・開発許可の受付 ・ 特定施設整備計画届出の受付 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設リサイクル法に基づく届出 ・ 屋外広告物許可事務 	
現在における課題			
平成 23 年度に向けた改善策等			

■作業工程（平成 23 年度）

月	作 業 内 容

□ 3 年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□ 2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H 2 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	0	0	0
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工		0.3	0.2
	臨時職員	人工		0.2	0.1
	計	人工		0.5	0.3

■平成 23 年度 計画額の主な増減 (前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
合 計				

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
合 計		

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

■評価

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	都市整備課	No.	9
事務事業名	公共下水道運営事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	下水道の円滑な運営		
業務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 地方公営企業決算状況調査作成・ 消費税申告・ 説明会の開催・	<ul style="list-style-type: none">・・・・	
現在における課題			
平成 23 年度 に向けた改 善策等			

■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
6	地方公営企業決算状況調査作成
9	消費税申告

□3年間の目標

目 標	.					
項目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	.
H25	.

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	2,722	23,046	7,260
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工		0.5	0.4
	臨時職員	人工		0.3	0.1
	計	人工		0.8	0.5

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
02	07	賃金	0(-1,032)	人員減による
	11	需用費	323(69)	来年印刷が必要となる様式の単価が高いため
	13	委託料	6,332(-14,857)	H22 中で完了しない左岸分の事業認可図書作成のみ残るため
	19	負担金	226(-74)	五条川左岸処理区協議会の金額減による
合 計			7,260(-15,786)	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
合 計		

■特記事項

次回の事業認可見直しは、H30の予定

■改善策等に対する取組内容

利用実績は以下のとおり。

区	分	平成23年度	平成22年度	増減	増減率
延べ利用者数	左岸	10,032件	9,608件	424件	4.4%
	右岸	15,667件	13,953件	1,714件	12.3%
総排水量	左岸	1,029千 ³ m	1,080千 ³ m	△51千 ³ m	△4.7%
	右岸	801千 ³ m	707千 ³ m	94千 ³ m	13.3%

※ 延べ利用者数 年6期の請求件数合計

左岸は工場が多く、利用者数に比して排水量が多くなっています。

23年度左岸の排水量の減は、22年度の排水量が平年より多かったこと及び

3月11日に起きた東日本大震災後の工場の生産調整が考えられます。

■評価

適正な運営に努めたが、水洗化率(接続している割合)は71.9%であり、さらなる未接続者への啓もうが必要である。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	都市整備課	No.	(10)
事務事業名	公共下水道維持管理事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	整備した下水道の利用・維持		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・管路維持管理 ・使用料徴収 ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	
現在における課題	左岸区域で不明水が多く、管の改修を計画的に進める必要がある。		
平成23年度に向けた改善策等			

■作業工程（平成 23 年度）

月	作業内容
奇数月	偶数月 1 日に使用料請求を行うためのデータ入力
毎月	特定事業所からの排水の水質検査

□3年間の目標

目 標	.					
	.					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	. .
H 2 5	. .

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	161,639	186,246	212,403
(内特定財源)		千円	161,639	183,610	212,403
人工	職員	人工		0.7	0.9
	臨時職員	人工		0.5	0.2
	計	人工		1.2	1.1

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
02	11	需用費	1,788 (1,000)	修繕料を計上
	13	委託料	21,852 (△1,950)	管理区域、使用者増による経費増
	19	負担金	188,131 (27,109)	排水量の増見込みによる
合 計			212,403 (26,157)	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
下水道使用料	212,291	
汚水処理委託料	112	
合 計	212,403	

■特記事項

H24 第 2 期を持って水道との使用料徴収業務が 5 年を迎えるので、以降分に関しての内容調整(主に経費単価)をする
恒常的な管路補修(不明水対策)工事の早期開始が必要

■改善策等に対する取組内容

設備の老朽化や管路閉塞に対応しました。

区	分	平成23年度	平成22年度	増減	増減率
管	路	1件	0件	1件	皆増
ポ	ン	1件	2件	△1件	△50.0%
	プ				
	補				
	修				

■評価

管路の改修計画を立てて進めていく必要がある。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	(11)
事務事業名	公共下水道整備事業(計画・工事)		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	下水道の整備		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・五条川右岸第5処理分区現況測量調査及び実施設計委託業務発注(河北二丁目、上小口一丁目) ・大口右岸5-1号幹線築造工事(上小口二丁目) 	<ul style="list-style-type: none"> ・大口右岸第5処理分区污水枝線築造工事(上小口一丁目・中小口一丁目) ・污水公共ます等設置工事 ・五条川左・右岸流域下水道建設事業負担金 	
現在における課題	計画的な整備の実施 下水道の整備が優先しており、舗装復旧が遅れている		
平成23年度に向けた改善策等			

■作業工程（平成 23 年度）

月	作業内容
	1. 現況測量調査及び実施設計委託業務発注 06 委託業務発注 12 業務成果品提出 2. 大口右岸5-1号幹線築造工事 09 汚水幹線築造工事発注 02 工事完了 3. 大口右岸第5処理分区汚水枝線築造工事 09 汚水枝線築造工事発注(国庫・町単) 03 工事完了

□3年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・現況測量調査及び実施設計委託業務(河北・上小口・中小口・下小口・竹田)を発注する。 ・管渠築造については、河北二丁目・上小口一丁目・中小口一丁目地内の面整備工事等を実施し、供用拡大を目指す。 					
項目(単位)	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標
現況測量調査及び実施設計委託	11,130	5,985	14,460	65,174		38,500
下水道建設工事	263,110	257,968	164,355	205,869	313,495	313,495
汚水公共ます等設置工事	34,000	29,064	34,000	29,680	31,600	34,000

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	<ul style="list-style-type: none"> ・河北・上小口の管渠築造を行う ・
H25	<ul style="list-style-type: none"> ・河北・上小口の管渠築造を行う ・中小口・下小口・竹田地区の測量設計を行う

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	596,839	533,623	616,075
(内特定財源)		千円	323,802	229,448	270,243
人工	職員	人工		1.6	1.4
	臨時職員	人工		0	0
	計	人工		1.6	1.4

■平成 23 年度 計画額の主な増減(前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
02	8	報償費	11,631 (854)	対象区域の見込みによる
	13	委託料	65,174 (50,630)	河北・上小口の測量設計を行う
	15	工事請負費	235,549 (37,194)	舗装復旧対象の増・河北への幹線整備
	16	原材料費	156 (▲44)	実績による
	19	負担金及び交付金	17,881 (▲5,924)	工事による水道管移設事業量の見込みによる
合 計			616,075 (82,452)	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
下水道事業受益者負担金	79,443	
下水道使用料	37,999	
公共下水道補助金	53,000	
受益者負担金延滞金	1	
下水道事業債	99,800	
合 計	270,243	

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

五条川左岸処理区については、主要な区域の整備が完了したため、当面五条川右岸処理区の整備を優先する。

五条川右岸処理区については、平成24年4月1日に供用開始するために、中小ロー丁目、上小ロー丁目の一部で15.6haの整備を行った。

■評価

五条川左岸処理区については、平成29年度末までに305.0haを整備する計画となっている。平成23年度末時点で276.9haが完了し、整備率は90.8%となった。

五条川右岸処理区については、平成29年度末までに315.0haを整備する計画となっている。平成23年度末時点で218.1haが完了し、整備率は69.2%で、前年度末より4.9%向上した。

○下水道普及状況（各年4月1日現在）

区 分		平成24年	平成23年	増減	増減率
行政区域内人口（住基人口）	(a)	22,229人	22,126人	103人	0.5%
処理区域内人口	(b)	16,747人	16,385人	362人	2.2%
水洗化人口	(c)	12,048人	11,503人	545人	4.7%
普及率	(b/a)	75.3%	74.1%	1.2%	1.6%
水洗化率	(c/b)	71.9%	70.2%	1.7%	2.4%
整備面積		495.0ha	479.4ha	15.6ha	3.3%

※行政区域内人口 町全体の人口
 処理区域内人口 整備済み区域内の人口
 水洗化人口 下水道への接続済み人口

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	12
事務事業名	農業集落家庭排水運営事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	下水道の円滑な運営		
業務内容	<ul style="list-style-type: none">・ 地方公営企業決算状況調査作成・ 消費税申告・・		<ul style="list-style-type: none">・・・
現在における課題			
平成 23 年度 に向けた改 善策等			

■作業工程（平成23年度）

月	作業内容
6	地方公営企業決算状況調査作成
9	消費税申告

□3年間の目標

目 標	.					
	.					
項目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2年後、3年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H24	. .
H25	. .

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	20	20	20
(内特定財源)		千円	0	0	0
人工	職員	人工		0.1	0.1
	臨時職員	人工		0.0	0.0
	計	人工		0.1	0.1

■平成 23 年度 計画額の主な増減 (前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業 番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
合 計				

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金 額	備 考
合 計		

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

利用実績は以下のとおり。

区 分	平成23年度	平成22年度	増減	増減率
延べ利用者数	2,650件	2,558件	92件	3.6%
総排水量	111千m ³	115千m ³	△4千m ³	△3.5%

※ 延べ利用者数 年6期の請求件数合計
排水量が減となった特徴的理由はありません。

下水処理過程で発生する脱水汚泥 5.60t を炭化肥料 1.30t へと再生資源化を行い、町主催のイベント等で広報活動及び肥料配布を実施し農地還元を行った。

■評価

適正な施設の運営に努めた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

所属名	建設部都市整備課	No.	13
事務事業名	農業集落家庭排水施設管理事業		
総合計画 の体系	大分類	2	未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する
	小分類	(3)	自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保
事業目的	整備した下水道の利用・維持		
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設維持修繕 ・ 新規接続工事 ・ ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ 	
現在における課題	昭和 58 年度に事業着工し、平成 3 年度の大口クリーンセンターの供用開始を挟み平成 4 年度工事完了、平成 5 年 4 月 1 日に全域供用開始となり、以後適正な機能維持に努めている。		
平成 23 年度に向けた改善策等	供用開始後約 20 年を経過していることから、計画的な整備及び修繕に努める。		

■作業工程（平成 23 年度）

月	作 業 内 容

□3 年間の目標

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
項 目（単位）	H21 計画	H21 実績	H22 計画	H23 目標	H24 目標	H25 目標

□2 年後、3 年後の主な計画

年度	計画内容及び改善策等
H 2 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・
H 2 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・

■事業コスト

		単位	H21 年度決算額	H22 年度当初予算額	H23 年度計画額
事業費		千円	13,030	15,612	15,019
(内特定財源)		千円		12,000	12,119
人工	職員	人工		0.6	0.4
	臨時職員	人工		0.1	0.1
	計	人工		0.7	0.5

■平成 23 年度 計画額の主な増減 (前年度比 20%以上又は 50 万円以上の増減について計上)

(単位：千円)

事業番号	節	科目名称	計画額 (増減額)	増減理由
02	11	需用費	7,537(-705)	定期交換品目の少ない年に当たり、修繕料が減っている
合 計			15,019(-593)	

■平成 23 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

特定財源名称	金額	備考
使用料	12,117	
分担金	1	
分担金督促手数料	1	
合 計	12,119	

■特記事項

--

■改善策等に対する取組内容

設備の老朽化や管路閉塞に対応しました。

区 分	平成23年度	平成22年度	増減	増減率
処 理 場 補 修	4件	8件	△4件	△50.0%
管 路 補 修 (含 む 閉 塞)	2件	0件	2件	皆増
ポ ンプ 補 修	2件	3件	△1件	△33.3%

■評価

適正な維持管理に努めたが、施設は老朽化しており、公共下水への切換を考える必要がある。